

エマニエール  
リモルディ

もしここがハリウッドだったなら、「スター誕生！」と叫んだことでしょう。  
ルービンシュタインやチェルカスキーの死後失われ、もう一度耳にするとは  
ついで想像もしなかった音楽を、私たちは聴いたのです。

SC@H 国際新聞(ロンドン)

彼は並外れた才能の持ち主である。

イーヴォ・ポゴレリチ



# 藤沢リラホール PIANO RECITAL

## CHOPIN

ポロネーズ Op.40 第2番  
即興曲 第1番、2番  
ノクターン Op.48 第1、2番  
バラード 第4番 Op.52

## RIMSKY-KORSAKOV / RIMOLDI

歌劇「金鶏」のテーマによる幻想曲

## MUSSORGSKY

展覧会の絵

2020年  
10/4 (日)

チケット料金 一般 ¥4,000 学生 ¥2,500

10/2,3 マスタークラス開催!(場所:西鎌倉)

受講者の方は本サイト上に無料でご招待いたします。  
マスタークラスへのご参加・聴講については下記までお電話、  
またはメールにてお問い合わせください。Tel. 090-4666-9293



会場：藤沢リラホール Tel.0466-22-2721

〒251-0025 神奈川県藤沢市鶴沼石上1-1-15-5F

(小田急線・JR東海道本線藤沢駅南口徒歩3分)

前売(所)：①藤沢リラ6F事務局 Tel.0466-22-2721

②チケットぴあ 6月1日(月)10:00~販売開始

Pコード、リンク後日掲載

主催：スタジオ♪ルリカケス 協賛：藤沢リラホール

お問い合わせ：スタジオ♪ルリカケス

Tel.090-4666-9293

後援：イタリア大使館

ヤマハミュージックジャパン

一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 (ピティナ)

いちばんぼし Moscow

エマニエール・リモルディ後援会

協力：ヤマハミュージックリテイリング銀座店



Ambasciata d'Italia  
Tokyo



LYRA HALL  
藤沢リラホール



YAMAHA

# エマニュエル・リモルデイ

## EMANUEL RIMOLDI

### ロシアン・ピアノスクールに育まれた新星イタリア人ピアニスト

ルーマニア人の母とイタリア人の父の間にミラノに生まれる。

ミラノ・ヴェルディ音楽院にてピアノ科と作曲科を卒業後、チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院にて、

**エリツ・ヴィルキラーゼ**氏の元で5年間研鑽を積む。

その後、**トップ・オブ・ザ・ワールド国際コンクール**（ノルウェー）にて優勝、**マンハッタン国際音楽コンクール**

（アメリカ）にてグランプリ受賞及び、審査委員長を務めた**イーヴォ・ポゴレリチ**氏よりポゴレリチ賞の

授与をきっかけに国際舞台に姿を現す。

トップ・オブ・ザ・ワールド国際ピアノコンクール優勝後、ノルウェーにて演奏会やマスタークラス、

ミラノ大学哲学学部では音楽と哲学の関係性についての講座を受け持つ。

これまでに、カーネギーホール（ニューヨーク）、ウイグモアホール（ロンドン）、ルクセンブルク・フィルハーモニック、

ガスタイクホール（ミュンヘン）、サル・コルトー（パリ）、ゲヴァントハウス（ライプツィヒ）、ハノーファー・北ドイツ放送フィルハーモニック、

ローマ・オペラ座、ヴェルディ音楽院大ホール（ミラノ）、モスクワ音楽院大ホール、モスクワ国際音楽会館等で演奏すると共に、

国際ベートーヴェン・ホール音楽祭（メキシコ）、マイアミ・ピアノ音楽祭、キャッストン音楽祭（アメリカ）、

ドゥシニキ国際ショパン・ピアノ音楽祭（ポーランド）など数々の主要音楽祭に出演し、熱狂的な支持を得る。各地の新聞等でも絶賛された。



ドゥシニキ国際ショパン・ピアノ音楽祭での演奏は、ポーランド・ナショナル・ラジオにて、

ドイツ国内で行われたリサイタルは各地ラジオ放送局（*NDR*（ハンブルグ）、*MDR*（ライプツィヒ）、

*ARD*（ミュンヘン））にて放送され、モスクワ国際音楽会館にて行われたメトロ・コンサート・アート室内楽音楽祭での演奏は、

ロシア国内テレビの文化チャンネルにて放送された。

2017年に行われたアメリカコンサートツアーを皮切りに、2018年には日本（東京、日経ホール・大阪、大阪大学会館ホール）、

ドイツ（エルブフィルハーモニー・ハンブルグ、ムジックフロインデ・オルデンブルグ）、

ロシア（モスクワ国際音楽会館、ソチ・フィルハーモニー）にてデビュー。

これまでにフランス、スペイン、イタリアにて国際コンクールの審査員として携わり、

近年はノルウェー、イタリア、日本等各地マスタークラスにて後進の指導にもあたる。また、いくつかの映画音楽の作曲も手がけている。

2019年11月には横浜みなとみらいホール等にて3度目となる日本ツアーを開催。2020年には王子ホール、

サントリーホール、白寿ホール、大阪大学会館ホール他、主要ホールでのリサイタルを予定している。

また、2019年よりヤマハアーティストサービスよりヤマハ *CFX* の提供、日本国内のリサイタルの援助が決定。

同年より、演奏活動の後、ロビーにて環境保全活動を行なっている *WWF* ジャパン（世界自然保護基金）の活動を紹介するとともに募金を募る。

初めて彼の演奏を聴いた時、恐るべき才能を目の前にしていることを理解するまでに時間はかからなかった。

その技術は卓越していることを気付かせないほどに傑出しており、それはどのようなレパートリーにも聴くことができる。

しかし技術は彼の音楽の中の割合を占めるほんの一部であり、エマニュエル・リモルデイの特異性を最もよく表しているのは音楽と彼の関係性だろう。

彼は音楽を深く理解しているだけでなく、その独創的な音楽的コンセプトを少しも作為的に感じさせることなく聴衆に提示してみせるのだ。

私は彼のバッハ、シューベルト、シューマン、ラフマニノフそしてプロコフィエフを聴いたが、とりわけ私は彼がその桁外れに多彩な演奏スタイルによって、

それぞれの作曲家の持つ特別なキャラクターを完全に弾き分けてみせることに圧倒されていた。

広いレパートリー、彼個人のカリスマティックで上品な魅力、そして彼の音楽的アプローチの独創性は、彼が今後さらに国際的なキャリアを切り開いていく準備ができていることを証明している。

### ブルーノ・モンサンジョン Bruno Monsiegeon

フィッシャー＝ダイースカウ、グールド、オISTRAフ、リヒテル、メニューインなど数多くの音楽家のドキュメンタリー映像を制作し、世界的に高い評価を得ているフランスの巨匠映像作家。

